

令和6年度第2回庄内町文化財保護審議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月2日(水)
9時30分～11時00分 指定文化財所在確認調査
11時00分～11時45分 第2回庄内町文化財保護審議会
- 2 開催場所 公益財団法人 清河八郎記念館 展示室
- 3 出席委員 池田孝一、坂本慶治、佐藤 浩、志田重一、菅原恵美子、菅原昭治、長南敬之
- 4 欠席委員 澤田美代治
- 5 文化財所在確認説明者 公益財団法人 清河八郎記念館 館長 廣田幸記
- 6 事務局 社会教育課主査兼社会教育係長、社会教育係主任

進行：社会教育課主査兼社会教育係長

1 開 会 社会教育課主査兼社会教育係長

2 会長あいさつ 志田会長

3 意見交換(座長：会長)

(1) 今回の文化財所在確認実施状況調査票について

所在確認した文化財：(歴史資料) 清河八郎自筆書関係、清河八郎遺品関係、
勤皇志士自筆書画関係

【会長】 皆さんの中で気が付いたことやご意見、感じたことを1人ずつ発言してもらいたい。

【委員】 展示されているものと収納されているものとがあるが、順番に回転して展示していて、管理も十分行き届いていると感動した。中に、2点ほど気になるものがあった。目録番号190番については、表具が取れかかっていた。目録番号183番の「潜中吟布」、山岡鉄舟と清河八郎が布に書いた素晴らしい詩については、布のままではなく、額装や飾りなどにより、きれいに飾ることができたらと感じた。先ほど、館長から収蔵庫の説明を受けたが、収蔵にかなり気を使っていると感じた。収蔵庫自体が倉庫みたいな粗末なものであるため、博物館のような施設にはきちんとした収蔵庫を設置した方が良く感じた。

【館長】 換気扇だけでは、桐箱に入っているものはいいが、紙の箱に入ったものは湿気が気になる。今はまだいいが、古くなってくると、遺品関係がボロボロになってくるため、温度管理のできる設備を設置すべきと思うが、助成の関係で難しい。審議会の方から言っただけならありがたい。

【委員】 展示していないものについては、大変良いものがあるため、展示してもらえるとありがたい。今展示中のものも、若干傷んでいるものがあるにしろ、展示できる時点でいい状態だと思う。若干ボロボロなものもあるので、一つずつでも直しながら展示してもらいたい。先ほど館長が言ったように、紙箱のものは保管状況が怪しいと思う。桐箱について予算を確保することができれば、一つでも多く桐箱に収め、しばらくは、この建物でも保存はきくだろう。今年は異常気象で、湿気が多い年だったため、管理が大変だったと思う。すぐに建物を修繕することなどはできないことから、桐箱などの呼吸できるような木の箱に移しながら、一点一点ずつ保存していくのがいいと思う。それもお金がかかることなので、今展示しているものよりも真新しいものを展示しながら、何か集客力をあげられるような企画やイベントがあればいいと思った。

【館長】 町の方からは、毎年特別展用として予算をつけてもらい、パネルなどを作成している。引き続き今年も要求していきたい。桐箱の話があったが、少しずつ桐箱に切り替えていくのも、いい考えだと思った。それから、文化財展などを開催しながら、展示せずに眠っている

文化財について趣向を変えて展示していこうと考えた。

【会長】私も評議員をさせてもらっているが、貴重な意見だと思う。

【委員】今日は貴重なものを見せてもらって良かった。管理する場所の湿度、空調関係は問題である。やはり、町の指定文化財、県の指定文化財があることから、そこはしっかりしなければならない。この建物を早急にどうにかできるわけではないため、今ある資料を使用しづらくなるかもしれないが、図書館に寄託をしていい環境に置いてもらう。まず、ものを傷ませないということが先である。ぜひ、換気の良いところに置いて、寄託されることをお勧めする。

【館長】収蔵庫の関係だが、ここには、町の指定文化財と県の指定文化財がある。設備の件は、町と県からの支援でやっていったらよいのではないかと考えている。この次、理事会があるので、このことについては、皆さんからの意見を理事会に報告したい。

【委員】この狭い空間の中に、こんなにたくさんの文化財があるというところはない。やはり、予算をつけないといけないと思う。いろいろ細かな工夫はしているが、ここは御殿林に囲まれて、決していい環境ではない。その辺も含め、財政的な裏付けをしっかり県や国にも要望すべきだと思う。なかなか難しいこととは思いますが、それぞれの努力だけでは限界である。

【館長】県と町と、国とも言われたが、国を動かすにも手順が必要なので難しい。

【会長】もっと宣伝をすべきである。ドラマ実現のために会を設けて活動しているわけだが、それだけでは足りない。

【委員】皆さんの言う通りだと思うが、この古い建物の中で、よく頑張って運営していると思う。空調の話も出ていたが、狭い収蔵庫にたくさんの資料が入っており、展示をしてみんなに見せたいものも収納されていた。やはり、町の方からも声を出してもらい、もう少し空調なども要求して整備してもらった方がいいと思った。

【会長】亀ノ尾の里資料館に資料を貸し出すのはいつからいつまでか。

【館長】12月中頃から2月中頃まで。亀ノ尾の里資料館は、空調が2、3年前に入っている。亀ノ尾の里資料館は町で指定管理者、ここは公益財団法人である。屋根の雨漏り関係を直してもらおうということで、今月から工事が入る。それから、玄関のモルタルも含めて360万円の予算をつけてもらった。空調の件については、これからも要望していきたい。

【副会長】今日は、みなさんから清河八郎記念館を調査していただいて本当に良かったと思っている。これだけの町指定、県指定の文化財を一堂に見る機会というのは、私だけでなく、みなさんも初めてだと思う。たくさんの資料を見て、保存状態を確認していただいたのは、本当にありがたいことだと感謝している。全体的な意見として、3点ある。1点目は、重要な資料は桐箱に入っており、ある程度の対策は打っているが、施設が老朽化していて、空調がないというのが一番の課題だと思う。2点目は、収蔵庫が狭すぎると思う。いろいろな資料を整備するにしても、他もそうだが狭すぎる。早急に対策を考えなければならないと思った。3点目は、館長からも指摘があったが、目録番号74の北辰一刀流兵法箇条目録が一部破損していたので、早くしかるべき専門業者から修繕してもらおうように、町に支援の要請をした方がいいと思った。

【館長】74の目録については、今年三菱財団の助成金の申請により予算を確保することができたら修復することで、去年向かったが、解説されていないことと見積書が間に合わなかったため断念した。今年は早めに見積書をもって、解説について調査員と話し合いをしながら、間に合えば出したいと思っている。今年は、16番の「霞ヶ関一條」の解説をしてもらい、その解説料を丸高歴史文化財団から支援してもらうために、助成金の申請書類を今月中に出す予定でいる。こういう形で、少しずつ外部からの支援の申請を行いながら、修復や解説をしていきたい。みなさんからも助成金などの情報があれば教えてもらいたい。

【会長】これだけのものを、いかにして、後世の人々に渡していくかが今後の大きな課題だと思う。詳細がわからないため、解説があるといいと思う。そのためには、学芸員のような専門的な人が常勤で必要になってくると思う。すべて予算の上に立っているわけだが、そこにある資料が一般の皆さんにも見てもらわなければ意味がない。今後展示するにあたって学芸員は必要になってくると思う。未解説のものをどういう形で、なるべく早く皆さんに伝えるかということも大事であるため、努力してやっていただきたいと思う。

【委員】 展示しているのはこの部屋だけか。

【館長】 この部屋だけで狭い。常設展示と特別展示をこの部屋で行っている。このパネルが常設で、清河八郎が何をしたかを展示している。こちらには西遊草で、お母さんを連れて伊勢参りをしたことを常設展示している。こちらの方は、特別展である。そのこの棚については、清河八郎だけでなく、奥さんのお蓮のことを知ってもらうというような形である。こちらの方は、判子を使ったものや、北辰一刀流など、子供が来て見るような形となっている。目的をもってやっている。お蓮と北辰一刀流のところは、常設展として展示している。

【事務局】 資料1として庄内町指定文化財一覧をつけている。所在確認を今まで何回か実施しているが、行ったものについては日付を入れている。空欄のものについては、まだ確認をしていないということである。今後、確認したいものなどご意見あれば教えていただければ、所在確認の調整をさせていただきたいと思う。今後の活動に活用していただくために、一覧を用意したので、後でご覧いただきたい。

4 報告

(1) 庄内町史資料第七号の発刊について

《事務局報告》

(2) 佐藤幸徳中将手記『勇猛と正直』の出版について

《事務局報告》

(3) 指定文化財説明板の設置について

《事務局報告》

(4) 山形県文化財管理・防災パトロールの実施について

《事務局報告》

(5) 梵天塚古墳の松の枝落としについて

《事務局報告》

【委員】 (5) の梵天塚古墳の松の枝落としの関係だが、前の話で、枝落としはわかるが、切り株の蓋については考えていないのか。

【事務局】 一度造園業者に相談したが、やはりコンクリートで埋めるしかないという話だった。経費がかかるため保留となっている。雨が降るとやはり良くない。

【委員】 今すぐにコンクリートではなくて、銅板で蓋をするなどの対処はどうか。波板などを使って、風で飛ばないように蓋をするのが先だと思う。中身が大切なので、何か蓋をした方が良く思うがどうか。

【事務局】 検討する。

【会長】 通学路となっているが前に問題になった枝はりは大丈夫か。

【事務局】 それについては一昨年切った。もう一つのアカマツが大きくなって、西側が暴風や積雪で危険性があるとご意見いただいたので、専門家の話を聞きながら、補正予算を取り急ぎ組み、雪が降る前に道路に出ている部分を切って、全体的に枝を落として、被害を軽減するものである。上を詰めるという話も出たが、それをしてしまうと、木が死ぬ可能性がある。地元からも「正直山」と愛されているので、木もできるだけ生かす方向で枝落としをしていくと業者と相談しているところである。

5 その他

(1) 次期任期（令和7年度、8年度）意向調査について

《資料により事務局説明》

(2) 指定文化財候補物件について

《資料により事務局説明》

(3) 次回の審議会

日時：令和7年2月14日（金）13：30～

6 閉 会 社会教育課主査兼社会教育係長